柴田愛子さん講演会報告

『お母さん、それは悩むことではありません』

私たちは、講演を聞いて こんな気持ちになりました。

医師や先生、周りからの意見で子育てを楽しめなくなっていました。
周りの言葉に打ちのめされない強さを持ちたいなと思いました。**胸を張って、自分の子育てはこれでいいと言えるようになりたい**です。（A.H ／ 5,3 才の母）

思っていたことと真逆の考え方が多々！でした。**それでいいんですか〜〜〜！？と目からウロコでした。**愛子さんが身近にいてくれたら、自信を持って子育てできるのにな…。（匿名希望）

でこぼこがあるから、社会が育つのですね。
今、向き合っている子どもたちと会いたくなりました。**「ありのままを受け入れる」**まずは自分自身を受け入れていきたいと思います。
（匿名希望）

子どもに寄り添ってるつもりで**自分に寄り添わせていたのは**…私だ。（苦笑）
（kyouko ／ 5 才の母）

協調性というのは、お互いがありのままを尊重することという言葉が心に残りました。
長男が少し大きくなってきて、将来勉強できる子にしなくては！！とかできないことをできるようにしなくては！！という気持ちが強くなり、息子と心が離れている気がしていました。
一旦、親の勝手な期待は捨てて、目の前の子どもをしっかり見つめようと思います。（匿名希望）

〝だって好きなんだもん。〟大人も子どもも好きな事があることが自分を豊かにするのだと思いました。（Y.Y ／ 6.4 才の母）

転ばぬ先の 100 本の杖よりも
転んだときに「痛かったね〜」と寄り添ってあげる一本の杖があることがこどもにとって
どんなにありがたいか！
子どもは、心と体に擦り傷をつくって磨かれていく。実体験こそ、その子を豊かにしていくと思っている。それを大人の都合で取り上げすぎている時代だと思います。

子どもは、〝だんだん〟〝だんだん〟発達していくもの。
子どものことは子どもに任せていいんじゃない？

正しく生きるより楽しく生きる！

核家族で子育てしていると、**知らず知らず心が狭くなって怒りすぎて自己嫌悪に陥って。**
娘は４歳になりますが「これでよかったのかなー」と思い返すことばかり。森での講演にこれたのは３回目。
この気持良い空気の中、いつも「あー、これでいいんだ」と気持ちを楽にさせてもらってます。（M.H ／ 4 才の母）

5 月 21 日（土）、絶好のお天気の中で、柴田愛子さんの講演会「お母さん、それは悩むことではありません」を開催しました！当日は、129 人もの大人が愛子さんのお話を聴き、「子どもにとって本当に大切なこと」を考える貴重な時間となりました。力強くユーモア溢れる愛子さんのお話に勇気づけられた人がたくさんいました。今回は、珠玉の言葉の数々と、皆さんの感想と共に当日を振り返ってみたいと思います。

出来ないことは、
「分かっているのにできない私」が悪いんじゃんくて、
「この人の考えが私に合わなかった」って思えばいいのよ！
時代、国、地域によって子育てはすごく違っている。
なのに、その時の多数派が支持することが正しいと思えてしまう。
要はその子が元気に育ってればいいのに！

〝だって、好きなんだもん！〟が大事！
大人は頭で考えて納得することには
OK を出せるけど、大人だって
案外〝好きなんだもん〟で
その人が形作られている。

絶対に正しいものはない。
私は子どもが生まれてきた以上、
生まれてきてよかったという人生を辿ってほしい。
子どもの育ちを常に評価している。
理想像、実態のない幻、こうあるべき。こう生きるべき。どうしてありのままが怖いんだろう。

うちの子は、
うちの子らしく、
でいいんじゃない？

協調性って、自分を我慢したり、
コントロールすることじゃない。
協調性って、誰かのために我慢するとかではなく、自分をコントロールするとか
みんなの足並みをそろえるとかではなく、
人間がお互いを尊重しあうこと。
ありのままのお互いを尊重しあうことが
協調性という言葉なんだ。

子どもは何かにはまって、堪能して卒業していく。
その繰り返しが〝大きくなる〟ということ。
何度言ってもやめないことは、これが繰り返されているのは、何かの足しになっている。って思っちゃえばいい！子どもは本来、育つ力を持っているのよ。

柴田愛子先生に会えてよかった！
わたしも元保育者です。**「危険回避」「安全第一」で不自然な保育になることを今はやっぱり変だったよな！**と思えます。（K）

「１つ好きな事があれば生きていける」
私の好きな事はなんだろうと考えてもすぐに出てこなかったです。
子どもたちにも好きな事を大事にできるように見守る力を付けたいなと思いました。（M.T ／ 9,5,5 才）

私のオススメ

『親と子のいい関係』／りんごの木出版

柴田愛子さんの講演録をまとめた一冊！
今回、講演会を聞けなかった人、この報告を読んで愛子さんのお話を聞いてみたくなった人にもオススメです！
この本を読むと、子どもを通して愛子さんの「あなたのままで、あなたらしく生きればいいのよ！！！」
そんな力強いメッセージと愛を感じることができますよ。（講演会スタッフ）

質疑応答を含めると予定の 30 分以上を超えて講演して下さった愛子さん。
さらに、講演会後、一人ひとりと丁寧に言葉を交わして下さいました。
「どう生きるか」今回の講演会で大切なテーマの一つだったと思います。
正しく生きるより、楽しく生きる。
ありのままに生きる。
一つ好きな事があれば、生きていける。
まずは、私たち大人がそんなふうに豊かに生きていきたい、と思える私自身にとっても大切な時間となりました。（ユキコ）